

## 原料費調整（スライド）制度に基づく2022年9月のガス料金について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて弊社では、原料費調整制度に基づいた都市ガス従量料金単価の調整を、下記のとおりとさせていただきます。

敬具

### 記

- 「原料費調整（スライド）制度」に基づき、2022年9月検針分に適用される従量料金単価を、2022年8月検針分に適用される従量料金単価に対し、1 m<sup>3</sup>あたり+4円41銭（税込）調整させていただきます。
- 標準家庭（1か月のご使用量が21 m<sup>3</sup>）の場合、ガス料金は月額6,616円（税込）となり、92円（1.41%）お支払額が増加します。

※ 原料費調整（スライド）制度は、都市ガスの原料となるLNG、プロパンの価格変動に対応して、従量料金単価（1 m<sup>3</sup>あたりの単価）を、毎月見直す制度です。

今回の料金の算定基準となる2022年4月～2022年6月のLNG、プロパンの平均原料価格を2022年4月～5月の貿易統計確報値および2022年6月の貿易統計速報値を基に算定しますと、平均原料価格は102,500円/t となります。2022年8月検針分のガス料金調整額を算定した2022年3月～2022年5月の実績平均原料価格に比べ、今回の調整額の算定基準となる2022年4月～2022年6月の実績平均原料価格は、トンあたり4,940円上昇することになり、料金調整は上記のとおりとなります。

●2022年9月検針分に適用されるガス小売供給約款料金（消費税等相当額を含みます。）

2022年8月検針分の従量料金単価に対して、+4.41円の調整となります。

料金表	1か月の 使用量	基本料金 (1か月あたり)	従量料金単価 (1 m <sup>3</sup> あたり)	
			2022年9月	2022年8月
A	0 m <sup>3</sup> から 10 m <sup>3</sup> まで	976.80 円	300.87 円	296.46 円
B	10 m <sup>3</sup> を超え 170 m <sup>3</sup> まで	1,593.46 円	239.20 円	234.79 円
C	170 m <sup>3</sup> を超え 500 m <sup>3</sup> まで	4,690.18 円	220.98 円	216.57 円
D	500 m <sup>3</sup> を超える	10,674.18 円	209.02 円	204.61 円

※基本料金は変わりません。

※基本料金、従量料金単価とも消費税等相当額を含んでいます。

●2022年9月検針分 お客さまへの影響額

標準家庭（1か月のご使用量が21 m<sup>3</sup>）の場合

2022年9月適用料金 (a)	2022年8月適用料金 (b)	増減(c) (a) - (b)	増減率 (c) / (b)
6,616 円	6,524 円	+92 円	+1.41%

1. 上記の料金は、いずれも消費税等相当額を含む1か月の料金です。

2. 「標準家庭」のガス使用量は日本海ガスの家庭用のお客さまの2016年～2020年の月平均使用量です。

●平均原料価格（円/t）および従量料金単価調整額（円/m<sup>3</sup>）

	2022.4～2022.6	2022.3～2022.5	基準平均原料価格
LNG平均輸入価格(貿易統計値)	101,840	96,850	42,480
プロパン平均輸入価格(貿易統計値)	109,590	106,350	39,600
平均原料価格(LNG換算)	102,500	97,560	42,520

■2022年4月～2022年6月の平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}
 \text{平均原料価格} &= \text{LNG平均輸入価格} \times 0.9645 + \text{プロパン平均輸入価格} \times 0.0390 \quad (10 \text{円未満四捨五入}) \\
 &= 101,840 \text{円/t} \times 0.9645 + 109,590 \text{円/t} \times 0.0390 \\
 &= 102,498.69 \text{円/t} \quad (10 \text{円未満四捨五入}) \\
 &= \underline{102,500 \text{円/t}}
 \end{aligned}$$

■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}
 \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\
 &= 102,500 \text{円/t} - 42,520 \text{円/t} \\
 &= 59,980 \text{円/t} \quad (100 \text{円未満切捨て}) \\
 &= \underline{59,900 \text{円/t}}
 \end{aligned}$$

■従量料金単価調整額(1 m<sup>3</sup>あたり)の算定

$$\begin{aligned}
 \text{従量料金単価調整額} &= \text{原料価格変動額} / 100 \text{円} \times 0.082 \times (1 + \text{消費税}) \\
 &= 59,900 \text{円} / 100 \text{円} \times 0.082 \times 1.10 \\
 &= 54.0298 \\
 &= \underline{54.02 \text{円/m}^3}
 \end{aligned}$$

※原料価格変動額100円につき従量料金単価を0.0902(0.082×1.1)円調整します。

※調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切上げます。

	2022年9月	2022年8月	増減
調整額 (円/m <sup>3</sup> ・税込)	+54.02	+49.61	+4.41

以上